

令和2年3月31日

札幌市長 秋元 克広 様

札幌市営住宅指定管理  
日興美装工業株式会  
代表取締役 櫻井 和

## 令和2年度 自主事業計画

- 1 各自主事業概要 ①～⑤
- 2 自主事業収支計画表
- 3 自主事業実施計画表

## 各自主事業概要

### ① 市営住宅窓口センター施設の一部を開放利用「まごころサロン」

「市営住宅窓口センター」(東区北 21 条東 18 丁目 3 番 5 号) が設置されている当社所有施設には、無料で開放できる貸室スペース「まごころサロン」があります。

主には、市営住宅入居者がいつでも気軽に利用できるように整備しております。

現在は、毎週火曜日に「介護予防センター元町」さんが市営住宅入居者を含む地域住民に声掛けして、元町元気サロンを開催しております。

他には、編物サークルや手話サークル、北東団地自治会役員や婦人部会の会議やちょっとした打合せにも利用して頂いております。エアコン完備でテレビ・DVD は自由に利用出来ますし、お問い合わせのための電話の使用や情報収集のためのインターネットでの閲覧は、市営住宅窓口センター職員にお申し付け下されば、無料でご利用頂けます。

### ② 「電話による安心ほっとコール」による見守り支援

当社は、後期高齢者に該当する 70 歳以上で且つ単身世帯に向けた「電話による安心ほっとコール」を実施しています。

電話では、市営住宅窓口センター女性職員が「お元気ですか?」「体調など変わったことはありませんか?」など、ご挨拶程度かもしれませんが、心をこめてご連絡させていただきます。希望者には月 1 回コールを想定し B ブロック全区対象とします。

### ③ 自治会行事やお知らせ案内チラシ作成技術支援講座

行事案内チラシ、お知らせチラシ、回覧板などの紙媒体コンテンツの充実を図ります。「入居者が自治会活動に対して関心がない」との課題がありました。

自治会役員の方が、日々ご苦勞なさって各種案内チラシを作成していらっしゃると思いますが、果たしてご自分の思いが見る側に伝わっているのかは大事なことです。

行事内容の充実は後の課題としまして、まずは何をどれだけ伝えたいのか? 強調したい情報は何か? レイアウト? …など、見て読んで相手に伝わる案内チラシ作成の講座を B ブロック全自治会向けに開催します。無料です。

講講座は、B ブロックを幾つかの地域に分けて各地域にあるコミュニティセンターや集会所でおこなう予定です。

### ④ 出前講座～「家庭で出来る掃除のひと工夫講座」

当社には掃除のプロ集団がおり、そのノウハウを活かして一般家庭でも出来る掃除のテクニック(床・壁・トイレ・換気扇等)を教えます。(テキスト有り)

5年前に市営住宅地域以外から、講座の要請があり始めたのがきっかけです。

その後、ご紹介などあり、札幌市内、当別町、江別市、千歳市、帯広市などの企業・団体や自治会から依頼をうけ、年間数件ではありますが無料講座を開催しております。

講師は当、日興美装工業(株)本社清掃部課長です。本講師は、自分自身の家の掃除は嫌いなだけに、参加する皆さんのお気持ちを察したひと工夫講座は大変好評です。

入居者アンケートでは、結露で悩んでいる住宅が多いことが判明しております。

結露の発生原因と効果的な防止対策について学ぶ講座も組み入れます。

尚、この活動に必要な事業経費については、指定管理者経費から捻出せず、日興美装工業株式会社の直接会社経費で負担します。

## ⑤ 自治会支援活動

### 2. 5年間の全体スケジュール

自治会支援活動に関する5年間の全体スケジュールを1年目、2～3年目、4～5年目の3つの期に分け、それぞれの「目標」と「主に取り組む活動」を示します。

#### (1) 1年目

<目標：リサーチと計画、既存自治会事業支援>

1年目は、支援活動に向けた準備の期間とします。各自治会に対して、ニーズの洗い出しをおこなうためのアンケート調査を実施します。

アンケート調査実施にあたっては、各自治会のご理解を得たうえで実施することが最善策ですので、自治会長さんへ直接アンケートを持参し、「お互い顔が見える関係」で趣旨を説明させて頂きご理解頂いたうえで回答して頂けるよう努めます。

アンケート項目については、札幌市住宅課さん及び協力専門団体と相談のうえ実施したい意向です。そのため、配付時期は平成31年1～2月に全自治会に配布しています。

平成31年4月～5月にかけて集計を終え、札幌市住宅課さん及び協力専門団体と、各自治会活動の現状把握並びに支援活動のあり方について検証し、今後の活動計画についての意見交換や協議をおこなって行きます。

アンケートの結果は、ホームページで公表します。

尚、自治会支援活動の中の一部を除いたコミュニティ事業提案は、まずモデル地区を設定して取り組みます。その活動内容を検証したのち、他の地区に展開して行きます。現在想定しているモデル地区は、市営住宅窓口センターが在る「東区第一、第二、第三地域包括支援センター管轄地区」を対象にしてモデル地区を検討したいと考えております。

#### (2) 2～3年目

<目標：モデル地区自治会支援活動の始動、既存活動の発展的継続と担い手発掘>

1年目の検討成果をもとに、効果の高いもの、緊急性があるもの、重点的に取り組むべきものや、専門性が求められるものについて事業を分類し、必要に応じて専門性の高い地域活動団体の協力を得て着手して行きます。

事業の成果については、「市営住宅自治会ライフサポート協議会」で定期的な意見交換をおこない、必要に応じて事業内容や事業の進め方について見直し、自治会との連携が円滑に行くように配慮します。

また、既存の活動についての企画・運営については、入居者向けに体験研修（ワークショップ）を開催することで、新たに自治会活動を担う人材育成のきっかけづくりの場を提供します。このことで、連携から協働への発展を期待します。

3年目には、2年目の活動展開の反省点を活かし、新たな地区での始動準備を開始します。

<主な取り組み>

全地区対象

- 高齢者単身世帯への「電話による安心ほっとコール」見守り活動支援継続（2～3年目）
- 自治会の行事やお知らせ案内チラシ作成技術支援講座（2～3年目）
- 防火・防災訓練及び自衛消防組織構築に係る助言及び支援（2～3年目）
- 北海道孤立防止ネットワークセンター 孤立防止の取組み（2～3年目）  
※NPO 法人シーズネットが、希望する自治会向けに高齢者孤立防止の仕組みづくりについての相談窓口、出前講座、シンポジウム開催実施
- 自治会活動課題と地域 NPO 法人及び市民活動団体とのマッチング

※モデル地区対象

- 地区地域ケア会議への参加 <モデル地区介護予防センター主催>（2～3年目）
- 「居場所づくり」「仲間づくり」の一環として、誰でも自由に参加できるイベントの企画・

実施による連携した見守り・支え合い・多世代交流活動への支援

※地域に在る共同施設を活用した、サロン・イベントの協働企画、開催

- 「役割づくり」「仲間づくり」の一環として、企画事業運営体験研修（ワークショップ）を通して地域活動を担う人材の育成（勉強会・研修会）
- 新たな支援活動地区始動に向けた「市営住宅自治会ライフサポート協議会」設立
- 自治会活動課題と地域 NPO 法人及び市民活動団体とのマッチング

### (3) 4～5年目

<目標：自治会との連携・協働事業の継続・発展、新たな地区での始動>

これまでの連携事業から協働事業への進捗を踏まえ、更なる自治会活動の掘り起こしと、活動が持続するための基盤形成の支援をおこないます。また、3年目までの支援活動の成果や反省を活かし、4年目からは新たな地区での自治会支援活動を展開する予定です。

<主な取り組み>

全地区対象

- 高齢者単身世帯への「電話による安心ほっとコール」見守り活動支援継続（2～3年目）
- 自治会の行事やお知らせ案内チラシ作成技術支援講座（2～3年目）
- 防火・防災訓練及び自衛消防組織構築に係る助言及び支援（2～3年目）
- 北海道孤立防止ネットワークセンター 孤立防止の取り組み（2～3年目）  
※NPO 法人シーズネットが、希望する自治会向けに高齢者孤立防止の仕組みづくりについての相談窓口、出前講座、シンポジウム開催実施
- 自治会活動課題と地域 NPO 法人及び市民活動団体とのマッチング

※モデル地区対象

- 地区地域ケア会議への参加 <モデル地区介護予防センター主催>（2～3年目）
- 「居場所づくり」「仲間づくり」の一環として、誰でも自由に参加できるイベントの企画・実施による連携した見守り・支え合い・多世代交流活動への支援
- ※地域に在る共同施設を活用した、サロン・イベントの協働企画、開催
- 「役割づくり」「仲間づくり」の一環として、企画事業運営体験研修（ワークショップ）を通して地域活動を担う人材の育成（勉強会・研修会）
- 新たな支援活動地区始動に向けた「市営住宅自治会ライフサポート協議会」設立
- 自治会活動課題と地域 NPO 法人及び市民活動団体とのマッチング

令和2年度 自主事業実施計画表

月	まごころサロン日程	自治会支援活動	安心ホットコール	自治会活動やお知らせ案内チラシ作成技術支援講座	家庭で出来る掃除のひと工夫講座
4	14日(火)	2019年セミナー実施時にアンケートの集計結果からモデル地区団地の設定等の準備	2020年2月Bブロック全団地世帯にチラシ配布済み。随時受付実施中。現在3名。		
5	12日(火)				
6	9日(火)				
7	14日(火)	セミナー開催予定 ※コロナウイルスの状況により中止又は延期の可能性あり		自治会支援活動に関するセミナー開催時に再度案内実施	
8	11日(火)				
9	8日(火)				
10	13日(火)				まごころサロン終了時に実施 (床・壁・トイレ・換気扇・結露対策等)
11	10日(火)				
12	8日(火)				
1	12日(火)				
2	9日(火)				
3	9日(火)				

単位:千円

## 自主事業

科目	予算額	摘要
旅費・交通費	30	自治会支援活動等打合せ会場交通費 年間5回ほど
光熱水費	3	まごころサロン 電気使用料:1時間あたり25円×月2回使用 月額100円×12ヶ月 年間1,200円 暖房使用料:1時間あたり75円×月2回使用 月額300円×6ヶ月 年間1,800円
通信運搬費	4	安心ほっとコール 通話料:1件あたり30円×10世帯 月額3,000円×12ヶ月 年間3,600円
租税公課		
広告宣伝費		
保険料		
賃借料		
リース料	70	自治会支援活動等セミナー (年間)70,000×1回 70,000円
修繕費		
消耗品費		
備品費		
印刷製本費	300	自治会支援活動等、チラシ、アンケート用紙印刷及び配布料 (年間)6,000枚
諸謝金		
委託費		
支払手数料		
行政財産の目的 外使用料		
人件費	1,100	NPO法人シーズネット等60万円(自治会支援活動、セミナー) 日興美装工業㈱40万円(自治会支援活動、セミナー等)
計	1,507	